学校いじめ防止基本方針

平成２６年　４月

気仙沼市立小原木小学校

目　　次

４　「いじめ問題対策委員会」の構成員の役割

１　いじめ防止のための措置

〈学級担任〉
・日常的に「いじめは人間として絶対に許されない」雰囲気を学級全体に醸成する。
・はやしたてる，見て見ぬふりをする行為もいじめを肯定することになることを理解させる。
・一人一人を大切にした分かりやすい授業づくりを進める。
・教職員の不適切な認識や言動がいじめにつながらないよう，指導の在り方に注意を払う。

〈養護教諭〉
・学校教育の様々な場面で命の大切さを取り上げる。

〈生徒指導主任〉
・いじめ問題について校内研修や会議で取り上げ，教職員間の共通理解を図る。

〈管理職〉
・全校集会などで，校長がいじめは絶対に許されないという雰囲気を学校全体に醸成する。
・道徳教育や人権教育の充実，読書活動・体験活動の推進等に計画的に取り組む。
・児童が自己有用感を高められる場面を積極的に設けるよう教職員に働き掛ける。
・児童会によるいじめ根絶集会など，児童が主体的に参加する取組を推進する。

２　早期発見のための措置

〈学級担任〉
・児童の見守りや信頼関係の構築に努め，児童の変化や危険信号を見逃さない。
・休み時間や放課後の児童との交流や日記等を通じ，交友関係や悩みを把握する。
・個人面談や家庭訪問の機会を活用し，教育相談を行う。

〈養護教諭〉
・保健室利用の児童生徒の会話等で，いつもと何か違うと感じたときは，その機会を捉え，悩みを聞く。

〈生徒指導主任〉
・定期的なアンケート調査や教育相談の実施等に計画的に取り組む。
・保健室や相談室の利用，電話相談窓口についての周知を図る。
・休み時間や昼休みの校内巡視や，放課後の巡回等において，異常の有無を確認する。

〈管理職〉
・児童及び保護者，教職員がいじめに関する相談を行うことができる体制を整備する。
・校内の教育相談体制が機能しているか定期的に点検する。

３　いじめに対する措置

いじめ情報

①情報を集める

教職員，児童，保護者，地域住民等から**いじめ問題対策委員会**に情報を集める。

〈学級担任・養護教諭等〉
・いじめを発見したら，その場で行為を止める。
・相談や訴えに傾聴する。
・正確な実態把握をする。
・聞き取りは，他の児童の目に触れないよう，時間・場所等に配慮する。

②指導・支援体制を組む

いじめ問題対策委員会で指導・支援体制を組む。

（学級担任等，養護教諭，生徒指導主任，管理職などで役割を分担）

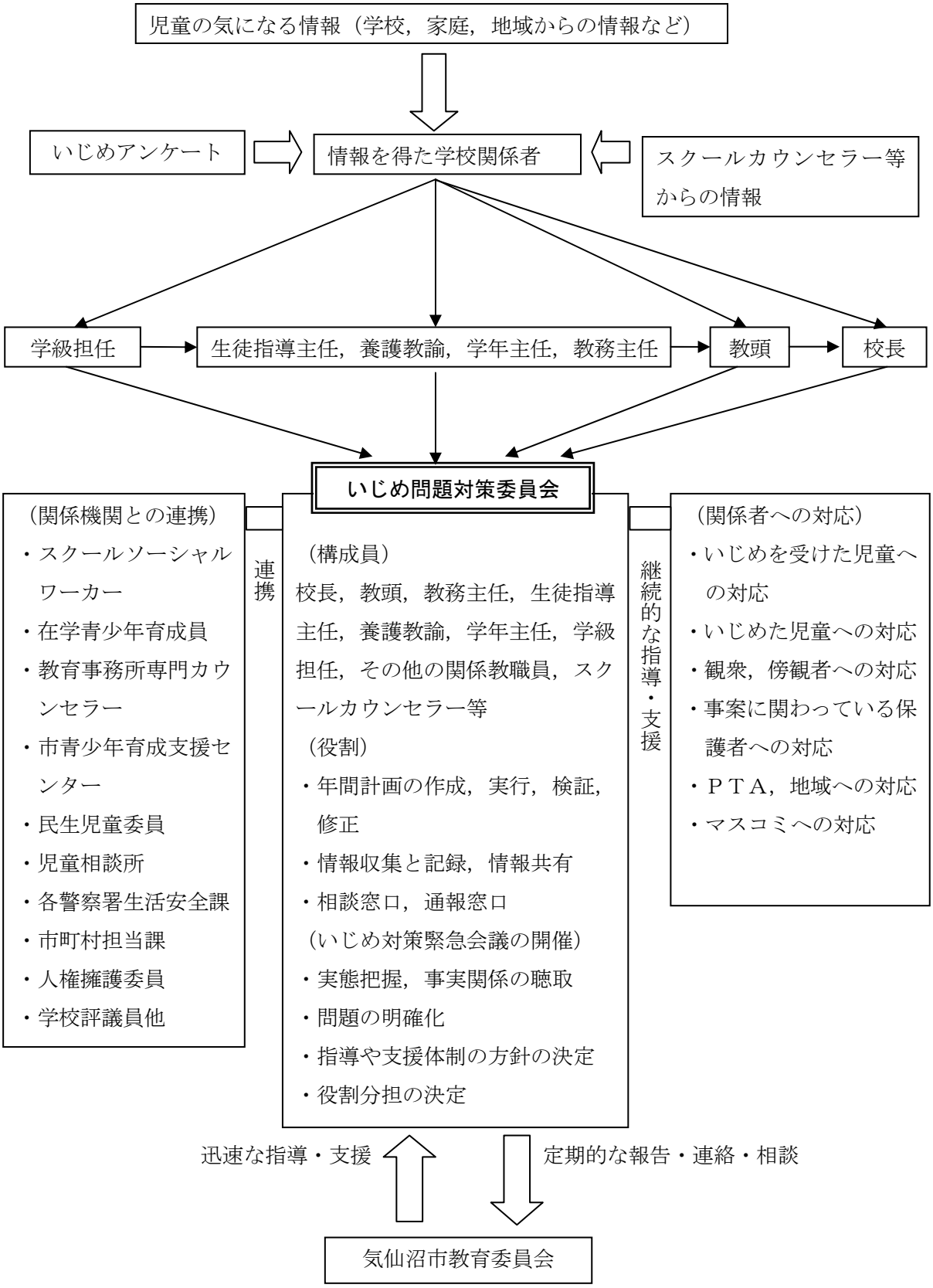
③児童への指導・支援を行う

●いじめを受けた児童にとって信頼できる人（友人や教員，家族，地域の人等）と連携し，寄り添い支える体制をつくる。
●いじめた児童には，いじめは人格を傷つける行為であることを理解させ，自らの行為の責任を自覚させるとともに，不満やストレスがあってもいじめに向かわせない力を育む。
●いじめを見ていた児童に対しても，自分の問題として捉えさせるとともに，いじめを止めることはできなくても，誰かに知らせる勇気を持つよう伝える。

③保護者と連携する

●つながりのある教職員を中心に，即日，関係児童（加害，被害とも）の家庭訪問等を行い，事実関係を伝えるとともに，今後の学校との連携方法について話し合う。

【いじめ問題対策委員会】


児童の気になる情報（学校，家庭，地域からの情報など）
いじめアンケート
情報を得た学校関係者
スクールカウンセラー等からの情報
学級担任
生徒指導主任，養護教諭，学年主任，教務主任
教頭
校長
いじめ問題対策委員会
（関係機関との連携）
・スクールソーシャルワーカー
・在学青少年育成員
・教育事務所専門カウンセラー
・市青少年育成支援センター
・民生児童委員
・児童相談所
・各警察署生活安全課
・市町村担当課
・人権擁護委員
・学校評議員他
連携
（構成員）
校長，教頭，教務主任，生徒指導主任，養護教諭，学年主任，学級担任，その他の関係教職員，スクールカウンセラー等
（役割）
・年間計画の作成，実行，検証，修正
・情報収集と記録，情報共有
・相談窓口，通報窓口
（いじめ対策緊急会議の開催）
・実態把握，事実関係の聴取
・問題の明確化
・指導や支援体制の方針の決定
・役割分担の決定
継続的な指導・支援
（関係者への対応）
・いじめを受けた児童への対応
・いじめた児童への対応
・観衆，傍観者への対応
・事案に関わっている保護者への対応
・ＰＴＡ，地域への対応
・マスコミへの対応
迅速な指導・支援
定期的な報告・連絡・相談
気仙沼市教育委員会

＜事実関係を明確にするための調査のフロー＞

重大事態と判断されるいじめの発見

↓

重大事態にかかわる調査を行う組織の設置

↓

【事実関係を明確にするための調査の実施】

「いつ（いつ頃から）」「誰から行われ」「どのような態様であったか」「いじめを生んだ背景事情や児童の人間関係にどのような問題があったか」「学校・教職員がどのように対応したか」

＜いじめを受けた児童からの聞き取りが可能な場合＞

○　いじめを受けた児童からの聞き取り

○　在籍児童や教職員に対する質問紙調査や聞き取り調査の実施

※いじめを受けた児童，情報提供してくれた児童を守ることが最優先。

＜いじめを受けた児童からの聞き取りが不可能な場合＞

○　在籍児童や教職員に対する質問紙調査や聴き取り調査

※当該児童の保護者の要望・意見を十分に聴取し，迅速に当該保護者と今後の調査について協議し，調査に着手する。

※児童の自殺が起こった場合はＰ21, 22 参照

↓

事実関係の確認

↓

【いじめた児童に対して】

○　指導を行い，いじめ行為を止める。※状況に応じて出席停止措置や警察との連携による措置も含め，毅然とした対応をする。教育上必要と認められるときには，学校教育法第 11 条の規定に基づき，適切に児童に対して懲戒を加える。

【いじめを受けた児童に対して】

○　事情や心情を聴取する。

○　状況に応じた継続的なケアを行う。

○　落ち着いた学校生活復帰の支援や学習支援等をする。

↓

【調査結果の提供及び報告】

○　市教育委員会への報告（電話・文書：随時）

○　いじめを受けた児童及びその保護者に対する情報の適切な提供（家庭訪問・電話：随時）

○　いじめた児童の保護者への説明（学校への呼び出し，家庭訪問）

○　必要に応じて，他の保護者への報告（説明：事実関係や指導の方向性がまとまってから行う。重大な事案の場合は，発見後に状況説明を行うことも考えられる）

↓

調査結果を踏まえた必要な措置

＜自殺の背景調査のフロー＞

児童の自殺という事態（いじめがその要因として疑われる場合）

↓

背景調査を行う組織の設置

↓

【背景調査の準備】

○　背景調査に当たり，遺族が，当該児童を最も身近に知り，また，背景調査について切実な心情を持つことを認識し，その要望・意見を十分に聴取するとともに，できる限りの配慮と説明を行う。

○　在校生及びその保護者に対しても，できる限りの配慮と説明を行う。

○　死亡した児童が置かれていた状況として，いじめの疑いがあることを踏まえ，遺族に対して主体的に，在校生へのアンケート調査や一斉聴き取り調査を含む詳しい調査の実施を提案する。

○　詳しい調査を行うに当たり，遺族に対して，調査の目的・目標，調査を行う組織の構成等，調査の概ねの期間や方法，入手した資料の取り扱い，遺族に対する説明の在り方や調査結果の公表に関する方針などについて，できる限り，遺族と合意しておく。

↓

【背景調査の実施】

○　背景調査においては，自殺が起きた後の時間の経過等に伴う制約の下で，できる限り，偏りのない資料や情報を多く収集し，それらの信頼性の吟味を含めて，客観的に，特定の資料や情報にのみ依拠することなく総合的に分析評価する。

○　客観的な事実関係の調査を迅速に進めることが必要であり，それらの事実の影響についての分析評価については，専門的知識及び経験を有する者の援助を求めることが必要であることに留意する。

○　情報発信・報道対応については，プライバシーへの配慮のうえ，正確で一貫した情報提供が必要であり，初期の段階で情報がないからといって，トラブルや不適切な対応がなかったと決めつけたり，断片的な情報で誤解を与えたりすることのないよう留意する。なお，亡くなった児童の尊厳の保持や，児童の自殺は連鎖（後追い）の可能性があることなどを踏まえ，報道の在り方に特別の注意が必要であり，ＷＨＯ（世界保健機関）による自殺報道への提言を参考にする。

↓

調査結果を踏まえた必要な措置

〈資料１〉いじめ発見のためのアンケート

児童の抱える問題を早期に把握し，早期に対応できるよう，定期的に簡易アンケート等を実施する。

１　対象

小学校１～６学年

２　実施について

（１）実施方法

簡易アンケートは，無記名とし，月１回程度は実施し，学級経営等の参考にする。

（２）簡易アンケートの様式例

学校生活アンケート

年　組（男・女）　月　日

このアンケートは，みなさんが，毎日楽しく安心して学校生活を過ごせるように行います。当てはまるところに〇をつけてください。

１　学校が楽しいですか。

（１）楽しい　（２）ふつう　（３）楽しくない

２　今，先生に相談したいことがありますか。

（１）ある　（２）ない

３　今，だれかにひどく悪口を言われたり，ひどくからかわれたり，仲間はずれにされたりしていますか。

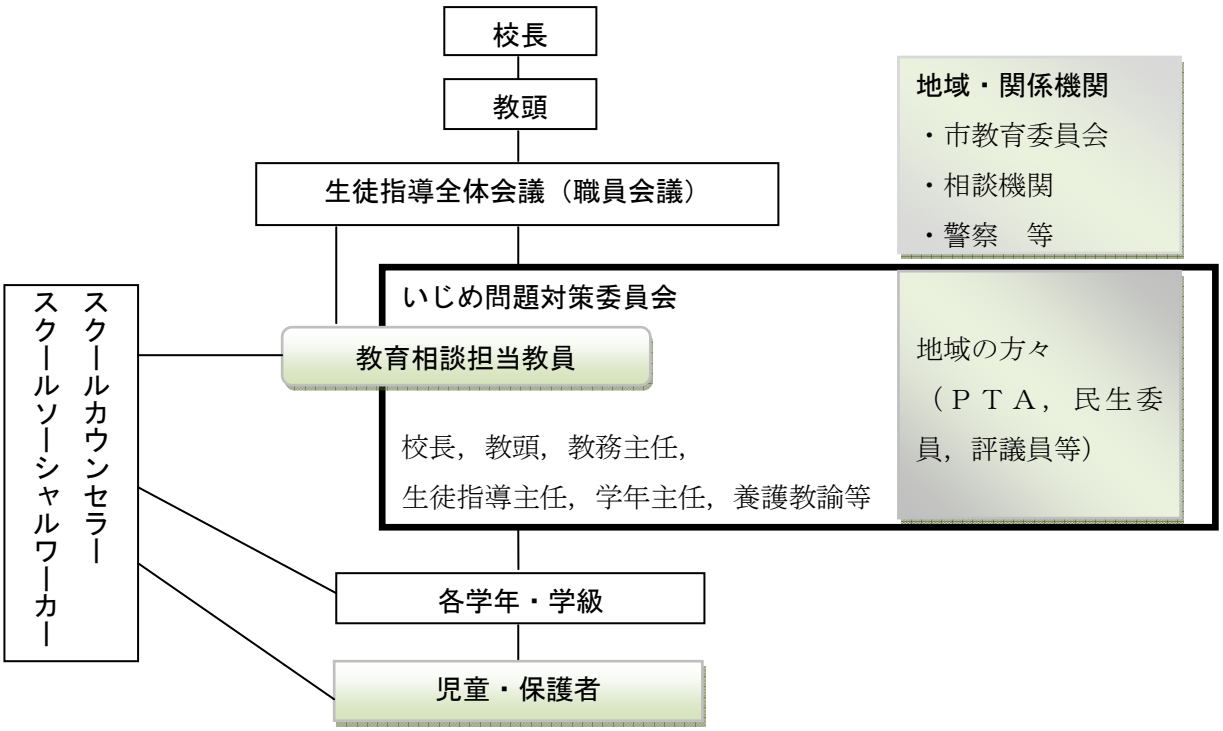
（１）いる　（２）いない　（３）こたえられない

４　このごろ，だれかがひとく悪口を言われたり，ひどくからかわれたり，仲間はずれにされたりいじめられているのを見たことがありますか。

（１）ある　（２）ない

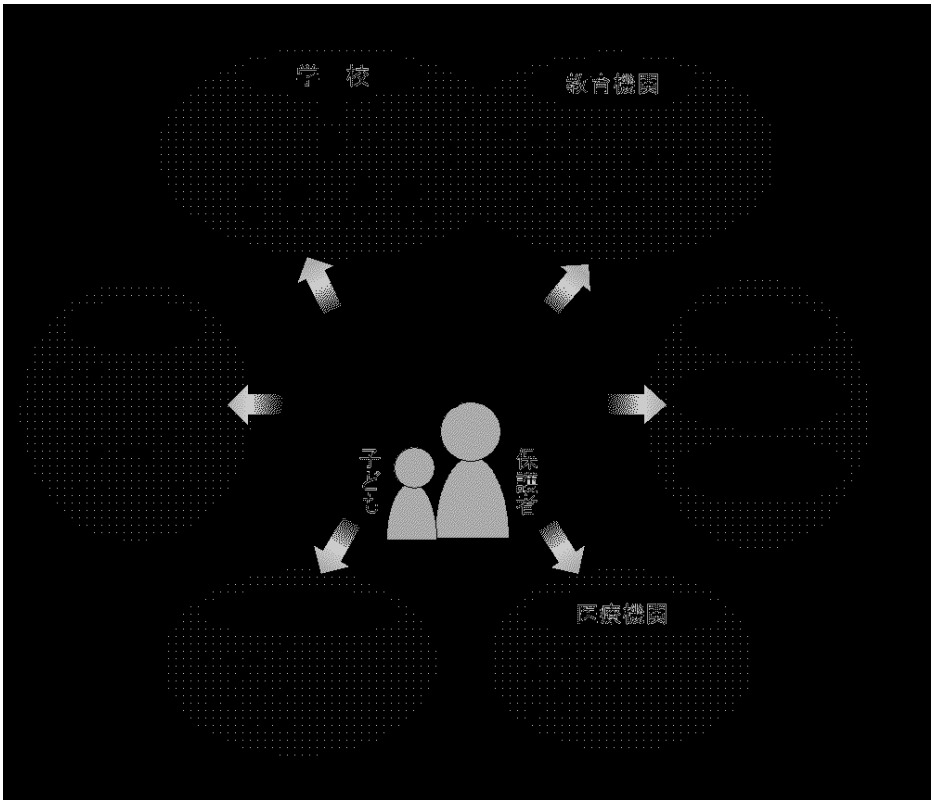
※「学校が楽しくない」「相談したいことがある」「いじめられている」又は「こたえられない」「いじめられているのを見たことがある」にチェックされている場合は，追調査等を行う。追調査として，見取り，面接，再調査などを実施する。

（４）教育相談に係る校内組織



２　各相談関係機関との連携

各相談関係機関との連携を図り，相談者（児童，保護者等）の相談窓口を広く確保する。



〈資料３〉いじめ発見のためのチェックシート（保護者用）

	チェック項目	大丈夫	心配
朝の様子	朝，なかなか起きてこない。		
	疲れた表情である。またはぼんやりとしていたりふさぎこんでいたりする。		
	いつもと違って，朝食を食べようとしない。		
	登校時間が近づくと，体調不良を訴える。		
	いつも特定の友達が迎えに来る。		
登下校	友達の荷物を持たされている。		
	一人で登校（下校）するようになる。		
	遠回りして登校（下校）するようになる。		
	途中で家に戻ってくる。		
帰宅時	理由のはっきりしない衣服の汚れや破れがある。		
	理由のはっきりしないすり傷やあざがある。		
	すぐに自分の部屋に駆け込み，なかなか出てこない。		
	帰宅時刻が遅くなる。		
	学校の話をしなくなる。		
	外出したがらない。		
	学用品や自転車，持ち物が壊れていたり，落書きがあったりする。		
友人関係	特定の友達に対する言葉遣いが不自然でていねいである。		
	友達の話をしなくなったり，いつも遊んでいた友達と遊ばなくなったりする。		
	友達から頻繁に電話やメールがあり，それを気にする。		
	遊んでいるとき，友達から横柄な態度をとられている。またはとっている。		
	いじめの話をすると強く否定する。		
家庭での様子	親と視線を合わせない。		
	家族と話をしなくなる。		
	親に反抗したり，兄弟姉妹やペットに八つ当たりしたりする。		
	お金の使い方が荒くなったり，無断で持ち出したりするようになる。		
	部屋に閉じこもりがちになる。		
	部屋にある持ち物がなくなっていく。		
	学習への意欲とともに成績が下がってきた。		
	食欲がなくなってきた。		
	ため息をつくことが多い。		
	なかなか寝付けない。		

〈資料４〉教師用・学校用チェックシート

１　いじめ発見チェックシート例（教師用）

	チェック項目	確認
朝の会	遅刻，欠席が増えたり，時刻ぎりぎりの登校が目立ったりする。	
	表情がさえず，うつむき加減でいることが多い。挨拶をしなくなる。	
	出席確認の際，声が小さかったり，頭痛や腹痛を頻繁に訴えたりする。	
授業中	授業の始めに，用具や机・椅子などが乱れている。周囲の児童が机や椅子を離そうとする。	
	所持品や机に落書きされたりする。	
	正しい答えを冷やかされたり，正しい意見なのに支持されなかったりする。	
	保健室やトイレに行きたがる。	
	テストの成績が急に下がり始める。	
	グループ活動で孤立しがちである。	
休み時間	教室や廊下で，一人でいることが多い。あるいは，自分の机から離れない。	
	休み時間は，トイレや相談室に閉じこもることが多い。	
	用事もないのに職員室や保健室に来たり，部屋の周りをうろうろしたりする。	
	そばを通る児童が大げさに避けて通る。ちょっかいをかける。	
	物が壊れたり，事件が起きたりすると，その子のせいにされる。	
	遊びと称して友達と一緒にいるが，表情がさえない。	
	グループから外れて一人ぽつんとしており，沈みがちになっている。	
給食時間	机を寄せてグループを作ろうとしない。寄せても隙間がある。	
	特定の児童が配膳すると嫌がられる。	
	腹痛や体調不良を訴え，給食を残したり，食欲がなくなったりする。	
	特定の児童だけが片付けをさせられている。	
清掃時間	人が嫌がる仕事ばかりしている。一人で離れて掃除をしている。	
	特定の児童の椅子や机だけが運ばれず，放置されている。	
	衣服が濡れたり汚れたりしている。	
	清掃後の授業に遅れてくることが多い。	
帰りの会	特定の児童の運動着が破られたり，靴が隠されたりする。	
	他の児童の持ち物をよく持たされる。	
	班ノートや学級日誌などに気に掛かる表現や描写が表れる。または何も書かなくなる。	
	急いで一人で帰宅したり，用もないのに学校に残っていたりする。	
委員会等	一人で準備や片付けをさせられる。または，休憩中一人でいる。	
	活動に遅れてくることが多くなる。あるいは頭痛，腹痛，体調不良をよく訴える。	
	特定の児童に仕事を任せる。あるいはほとんど仕事を与えない。グループから取り残される。	
	理由がはっきりしない，けがや汚れがある。	

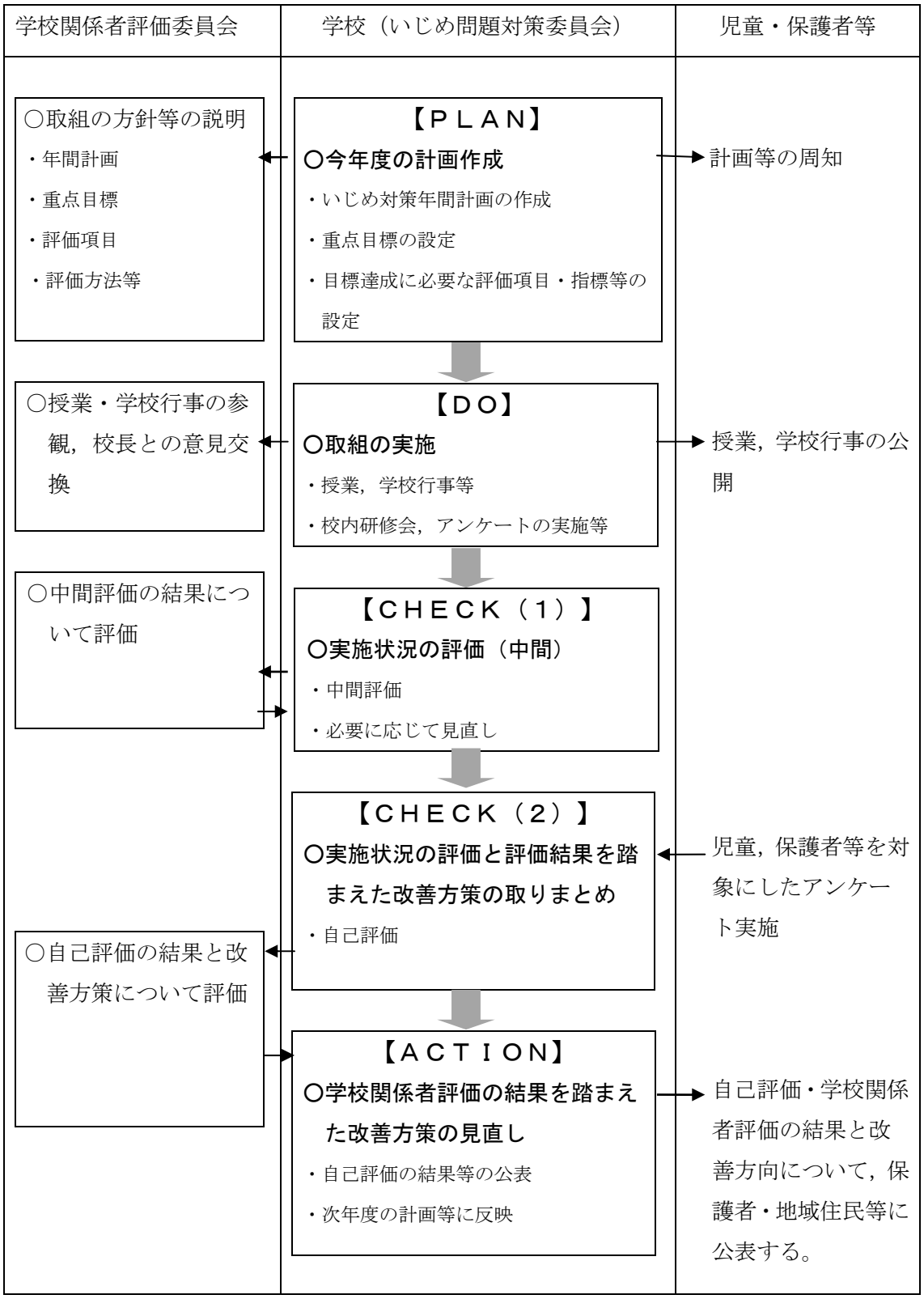
２　いじめ問題に対する日常の取組チェックシート（学校用）

	チェック項目	確認
未然防止	全員の児童に声をかけ，児童のよいところを積極的にほめている。	
	一人一人の児童に活躍の場を設定している。	
	自己有用感や自己存在感を育む活動を意図的に取り入れている。	
	児童同士で良いところを認め合う機会を設定している。	
	仲間意識を育てる活動を積極的に取り入れている。	
	分かる授業づくりに努めている。	
	小学校と中学校が十分な情報交換を行っている。	
	体験入学等，小・中学校間の子供たちの交流が図られている。	
	教職員による小・中学校の交流や連携が図られている。	
	児童の小さな頑張りを家庭に伝えるなど，保護者とコミュニケーションをとっている。	
	家庭と連携しながら，児童の基本的生活習慣の定着を図っている。	
	道徳や学級活動の時間等にいじめに関わる問題を取り上げ，指導している。	
	児童会活動等で，いじめ問題との関わりで適切な指導や支援を行っている。	
	児童に幅広い生活体験を積ませ，社会性の涵養や豊かな情操を培っている。	
早期発見・早期対応	児童と触れ合いながら，児童の変化をつかんでいる。	
	児童たちを複数の目で見るなど，教室以外での児童の様子について情報を集めている。	
	定期的にアンケート等を実施し，情報収集を図っている。	
	児童と信頼関係ができており，児童が悩みを相談している。	
	児童が養護教諭やスクールカウンセラーにすぐ相談できる体制になっている。	
	児童や保護者に相談電話の窓口や電話番号を知らせている。	
	養護教諭やスクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーと積極的に連携している。	
	気になることが，すぐに管理職や学年主任，教育相談担当等に報告されている。	
	日常生活の変化等，気になることをすぐ保護者と話し合っている。	
指導体制	いじめ問題の解決に向け，全職員が一致協力することの認識が徹底されている。	
	いじめについての研修会を開き，職員間の共通理解を図っている。	
	児童が出すサインを見逃さず，その一つ一つに的確に対応する。	
	いじめについての訴えに対し，問題を軽視することなく適切に対応している。	
学校外連携	ＰＴＡや地域の関係団体とともに，いじめ問題について協議する機会を設けるなど，いじめ根絶に向けたネットワークづくりを図っている。	
	家庭に対して，いじめ問題についての啓発を行うとともに，家庭訪問や学校だより等を通じ，家庭との連携を図っている。	
	家庭に対して，生徒指導の基本方針や問題行動への対処，関係機関との連携等について伝えている。	
	必要に応じて，児童相談所，警察等の地域関係機関との連携協力を行っている。	

３　いじめを認知したときの対応チェックシート（学校用）

チェック項目	確認
いじめの相談や訴えに対して，親身になって受け止め，対応している。	
管理職への報告が迅速かつ確実に行われている。	
いじめを受けた児童の安全確保がなされている。	
いじめを受けた児童から，いじめの内容について十分に話を聞くことができている。	
市教育委員会へ，いじめの事実と対応の第一報を行っている。	
いじめた児童からいじめを受けた児童と同じ内容の話を聞くことができている。	
当該児童の保護者への第一報を行っている。	
いじめ緊急対策会議を開催し，指導・支援体制の方針を迅速に決定して措置に当たっている。	
職員会議を開催し，全教職員でいじめの状況と対応を確認して意思統一を行っている。	
校長を中心とした体制のもと，チームを組織して対応している。	
いじめを受けた児童の保護者の気持ちや思いを十分に受け止めている。	
必要に応じて，警察等の関係機関に連絡している。	
いじめた児童や学級等へ「いじめは絶対に許されない行為である」と厳しく指導している。	
当該児童の保護者に十分説明を行い，理解を得てから，謝罪を行っている。	
市教育委員会へ，いじめの事故報告を提出している。	
ＰＴＡと連携して，事後の対応やいじめの防止に取り組めている。	
地域関係者と連携して，事案の対応やいじめ防止に取り組めている。	
市教育委員会への月例報告に「いじめに関する実態調査」を提出している。	
「いじめが再発していないか」，「いじめを受けた児童がいやな思いをしていないか」など，見守っている。	
いじめを受けた児童の不安がなくなり，安心して学校生活が送れるようになっている。	

〈資料６〉学校評価の進め方



〈資料７〉重大事態に係るいじめの背景調査「聞き取りシート」

「聞き取りシート」【いじめを受けた児童用】

平成　　年　　月　　日
時刻：　　時　　分から
　　時　　分まで
記録者：

年　　組　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＜された場面＞

日時 （いつ頃から）	場所	誰にどんなことをされたか・誰にどんなことを言われたか ※その時の気持ちはどうだったか	近くにいた人
月　　日　　時			

＜説明図（誰にどの位置でどんなことをされたかなど）＞

＜メモ＞

「聞き取りシート」【いじめた児童・傍観していた児童用】

平成　　年　　月　　日
時刻：　　時　　分から
　　時　　分まで
記録者：

年　　組　　氏名

＜いじめに至ったきっかけ＞

＜行った，または，見た場面＞

日時	場所	誰が誰にどんなことをしたか（したのを見たか）・誰がどんなことを言ったか（言ったのを聞いたか）	近くにいた人
月　　日　　時			

＜説明図（誰がどの位置でどんなことをしたかなど）＞

＜メモ＞